

謝罪文

甲野花子様

この度は、私の社会人としてあるまじき勝手な行為で、甲野花様に多大なご迷惑をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

この度のことにつきまして弁明の余地もないことは重々承知しておりますが、最近仕事で思うようにならない事が重なり、ストレスを解消したいという自分の心の弱さに負け、盗撮という行為に及んでしまい、甲野花様にご迷惑をおかけしてしまいました。しかし、今思い返しますと、何故自制できなかったのか、何故他者を傷つけることを想定できなかったのかと、己の愚かさを深く反省するばかりです。

今後、二度と盗撮をしないよう、私自身で原因と向き合うだけでなく、妻ともよく話し合いをしました。事件を起こしてしまった〇〇には立ち寄らないことはもちろんの他、カメラ付きスマートフォンの使用をやめることと、私物のデジタルカメラの撮影データも全て妻が管理することになりました。仕事のストレスも原因であるため、転職も検討しています。

この度の事件で、甲野花様には簡単にお許しいただけるとは思いませんが、当然ながら出来る限りの損害賠償をさせていただきたいと考えておりますので、甚だ些少ではありますがどうかご受納ください。

改めて今回の事件で、謝罪の意だけでもお汲み取りいただけましたら幸甚に存じます。本当に、申し訳ございませんでした。

令和元年5月15日

鈴木太郎 印